



祝 西暦二千年  
開拓百三十年 特別記念号

祝 辞

桔梗ヶ原区長  
武井 範 治



区民の皆様新年明けましておめでとうございます。西暦二千年の輝く新春を迎え皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。本年は桔梗ヶ原の原野に開拓の躰が入ってから百三十周年となる記念すべき年であります。長い歳月の努力が実った「ぶどう」は特産として好評を得てワイン醸造の先駆者である故林五一氏の偉業によって桔梗ヶ原は「ぶどうとワインの

里」として、広くその名を馳せるところとなりました。桔梗ヶ原の地に培われた誇りある伝統文化が区民の熱意によって、二十一世紀へ引き継がれることを願うものであります。

近年都市化の進行によって区内の人口が増加し、常会ごとの世帯数も五常会以外は五十戸以上となり特に八常会は百十一戸と大規模な集落となっております。これは宗賀地区の他区常会平均世帯数十八戸を大幅に上回っていてこれらの常会では、役員負担が大きいなど常会運営に問題が出ております。効果的自治組織としての常会の規模など将来を見据えた「常会再編成」についての検討を今後お願いいたします。

備については本年高齢者など体の不自由な人々にやさしい施設とするため車椅子トイレの設置や、玄関の段差をなくす改修工事を市の補助を受けて実施いたしました。また大広間のジュータンやファンヒーターの整備も追加事業が認められて市の補助で購入いたしました。大いに活用をしてください。区内の来年度以降の事業については、常会ごとに集約して区常会で検討し防犯灯、カーブミラーの設置、雨水排水対策など市へ要望いたしました。

本年も次期区役員の選考時期が近付いて来ました。毎年の例で苦難の選考の末に半ば押し付けの選出になります。役員を任せられた以上は使命感で無理をしても任期を勤めることになりま。区役員がより良い区政を推進するため区民の皆様のご理解ご協力を切にお願いいたします。

開拓から  
百三十年を  
迎えた郷土

分館長  
明 間 進



謹 賀 新 年

須賀野の一角に初めて開拓の躰が入れられたのは、一八六九（明治二年）のことです。今年には百三十一年を迎えます。

世代も変わり「わがふるさと」の昔を語る人達も少なくなる現状において、桔梗ヶ原の歴史を学び後世に残したいと、武田允邦先生の教養講座を開講しました。

江戸時代の桔梗ヶ原は、此の草を田圃の肥料や牛馬の餌にするための入会秣場であった。幕府は開墾の奨励をしたが、周村農民の消極的な態度によって、開墾は阻止されてきました。

又、私達が住む桔梗ヶ原を見つめ直してみたい思いから、桔梗ヶ原の今昔を訪

ねてみました。史跡を訪ねながら地元の歴史に詳しい公民館役員から、先人達の図りしれない入植の苦労を知ることができました。

荒野の中で厳しい気象条件、作物に不適な酸性土壌、地下水の異状な低下など悪条件の元で、血の滲むような苦労を克服し、幾世代の後継者の手により、豊かな果樹園地帯と発展し、今日の桔梗ヶ原が形成されてきました。

桔梗ヶ原の百三十年の歴史から、先人達の労苦の跡を見ることができ、たくましい開拓の精神を学ぶことができました。

世は敗戦、高度経済成長からバブル崩壊、受注低下によるリストラと変遷をしてきました。桔梗ヶ原にも市街化区域には年毎に新しい住宅、アパートができ、戸数も五百十六戸と増加しています。

果樹産業の近代化と、都市化に伴う住宅地帯として、将来を真剣に展望し、桔梗ヶ原の新しい歴史を創りた

公民館は一九四九年に社会教育法に基づいて、設置されてから五十年になります。桔梗ヶ原に開設されて

今年で三十九年、複雑な社会情勢の変化の中で、公民館活動も時代と共に変革し充実されてきました。

今では、継続的な生涯学習や、文化教養講座、趣味サークル、体力づくりのためのスポーツ活動など、豊かな内容で活動をしており、公民館に課せられた使命も、益々重要になってきました。

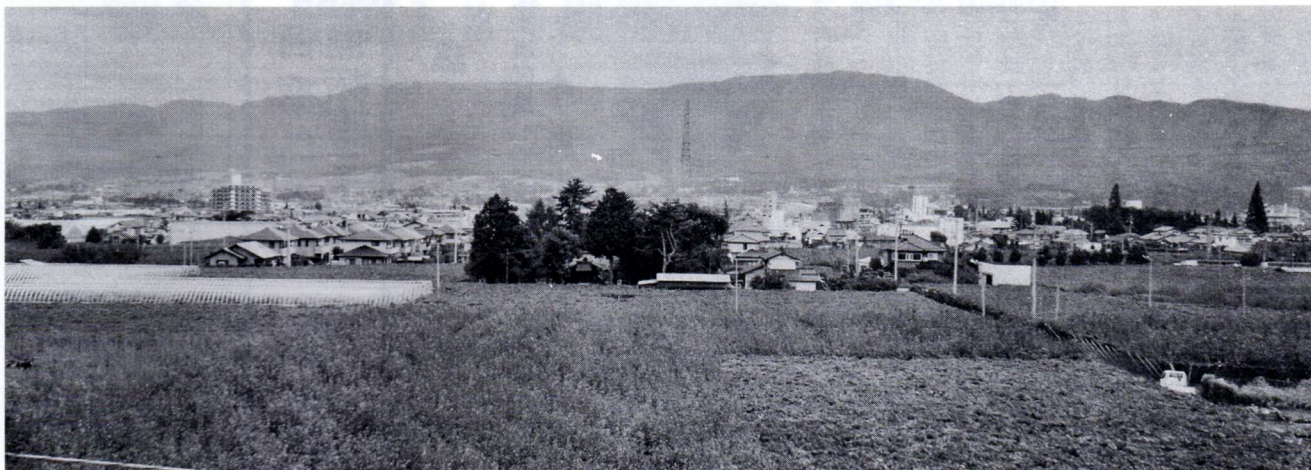
平成十一年度の公民館活動は、よりよい「ふるさと」づくりに参加を基本理念として、各種事業を遂行して

きました。今年度は桔梗ヶ原開拓百三十年と、西暦二千年を迎える節目の年であり、後世に残る記念にと分館報の特別記念号を発行しました。二千年の資料が五十年、百年先に何かの役に立てばと思いい、公民館役員が調査をしました。

公民館事業も、皆様方のご協力により所期の目的を完遂できましたことを心から御礼申し上げます。

今年度も後僅かとなりましたが、今年も一層のご鞭撻とご協力をお願い申し上げます。





公民館から東方を望む

### 開拓百三十周年 を祝う

桔梗ヶ原百才会  
会長 百瀬 清人



三十年昔の百周年時とは  
又大きく変った感激を覚え  
つつ只管に前進に前進する  
この桔梗ヶ原区の現況を想  
うとき何とも云えない衝動  
にかられて将来を思う。

◆明治二十三年山辺の人豊  
島理喜治氏自信を得て桔梗  
ヶ原に葡萄を植えた事によっ  
て葡萄栽培発祥の地となり  
全国有数の産地となる。

◆明治四十一年桔梗ヶ原の  
一角に県立苗圃約九町五反  
歩が設立される。◆大正二  
年桔梗ヶ原区制定とき七十  
三戸◆大正八年▲林農園葡  
萄酒醸造場設立される◆昭  
和八年イツッ葡萄酒醸造場  
を設立する◆昭和十一年サ  
ントリー葡萄酒工場設立さ  
れる◆昭和十二年オーシャン  
の前進の大黒葡萄酒工場  
が設立。◆昭和三十四年塩  
尻市が誕生する。◆昭和三十  
四年全国ぶどう大会を塩  
尻市で開催し大会参加者が

桔梗ヶ原の二園を視察する。  
◆昭和四十年国道十九号が  
桔梗ヶ原区を縦断する。

◆昭和四十年天皇皇后陛下  
県立林業指導所において松  
の種子をお手蒔する。◆昭  
和四十二年頃から昭和電工  
塩尻工場の粉塵が発生、果  
樹への被害が発生した。人  
体への被害を感じる為国会  
に陳情。◆昭和四十五年国  
道十九号の歩道改良期成同  
盟 会を設立し国道工事々  
務所へ陳情を始める。◆昭  
和五十一年中部電力超高压  
送電線通過に伴う対策委員  
会を設立。◆同年昭和電工  
塩尻工場粉塵公害対策委員  
会は塩尻市と議会に安全操  
業と住民の健康診断の請願  
書を提出。◆昭和五十五年  
桔梗ヶ原公民館用地買収新  
館落成する。◆昭和五十年  
から五十五年西部中学生徒  
にデラウェアジャズベリン処  
理労力奉仕の協力を求める。  
◆昭和六十年国道歩道改良  
工事日出塩まで完成。◆高  
級ワイン用種メルロを導入。  
各ワイン工場と契約栽培す  
る。◆昭和六十一年二月高  
圧送電線四路線統合を完成。  
区内を通過し路線下に住宅  
の建設が出来るようになった。

### 桔梗ヶ原の歴史

日出塩  
武 田 允 邦



桔梗ヶ原区は、塩尻駅に  
近接して交通の便もよいこ  
とから、人口も増加してお  
り、塩尻市内でも発展のめ  
ざましい地区の一つです。

また、自然環境もよく、  
四季を通して北アルプスが  
展望できますし、さらに、  
ブドウ、ワインの産地とし  
ても有名で、秋の実りの時  
季には、多くの観光客がこ  
の地を訪れます。

そこでこのように発展め  
ざましい桔梗ヶ原の明治初  
期の頃の様子について書い  
てみたいと思います。

#### 原野の中にあつた桔梗原

現在、宗賀の中で最も人  
口の多いこの地区も明治初  
期には最も人口が少ない地  
区でした。また、当たり一  
面は原野でした。

桔梗ヶ原は、北に広丘村  
の旧吉田、原新田、野村、  
堅石等から旧大門、平出に

接しており、「樹木はなく  
芝草、雑草を生ずるのみ」  
と書かれています。

天明年間(二二〇年前)  
に本洗馬の里へ一年間、旅  
途に滞在した菅江真澄はこ  
の辺の景観を記しています。  
「(元町の近くの山に登り遠  
くの方を見渡すと)桔梗ヶ  
原は青海原のようで、緑の  
むしろを敷いたかに見える」

「(八月十三日、夜もあけ  
きらぬうちに本洗馬の里を  
出発し)野原にさしかかっ  
た。虫の音も眺には声が弱  
まるのかと聞く。萩やすす  
きをかき分け、朝露にぬれ  
ながら桔梗ヶ原をすすむ」

「(七月二十日)桔梗ヶ原  
にやってくると、さすがに  
その名のとおり桔梗や女郎  
花(おみなえし)がまっさ  
かりで、趣深く見ながら野  
原を分けてすすんだ」

原野のまま、なぜ明治  
を迎えたのかについては二  
つの理由が考えられます。

水深がひじょうに深く、生  
活用水が得にくかったこと、  
また、それ以上に社会的制  
約がありました。

#### 桔梗ヶ原だった理由

原野の開墾は、耕作規模  
の小さな農民や、二・三男  
に出生し農民として独立し



# 西暦2000年 桔梗ヶ原の記録 開拓130周年

平成12年1月1日現在

区分	常会	1	2	3	4	5	6	7	8	計
戸	数	47	66	66	53	24	57	92	111	516
人	男 性	66	96	84	91	41	92	114	151	735
	女 性	69	98	111	83	46	97	97	155	756
	小 学 生	12	11	8	7	5	10	7	18	78
	70才以上人	12	25	38	22	25	29	38	30	219
専 業 農 家 (軒)		0	0	8	7	15	3	0	4	37
古 井 戸		0	0	0	2	2	0	0	0	4
自家用車保有数		87	100	112	106	51	125	77	173	831
事業所数(会社等)		3	0	3	5	7	3	10	3	34
主要道路(交通)	国道19号線、県道292号線(通称朝日街道)、アルプスグリーン道路									
公 共 施 設	桔梗ヶ原公民館 消防第6部詰所 中南信交通安全センター 塩尻警察署 桔梗ヶ原保育園 ふれあいセンターすがのの郷 塩尻市総合グラウンド サラダ公園 塩尻市農協桔梗ヶ原出張所 桔梗ヶ原果実撰果所 八十二銀行 塩尻西支店 桔梗ヶ原病院 青果市場長印松本合同 六常会集会所									
神 社 仏 閣	桔梗ヶ原神社 天満宮 玄蕃稲荷社 日蓮宗大乘寺									
主 事 業 所	五一ワイン 井筒ワイン 西友桔梗ヶ原店 しまむら衣料店 土田園 フモンデ観光園 矢島園 宮坂園 桔梗 にしむら給油所 各務製粉所 大和製瓦所 田中精密 丸栄工業所 アイニックス									
石 碑	頌 徳 碑 歌 碑	謝恩碑(林七六翁 S20・10・15) 豊島理喜治翁頌徳碑(S45・2・吉日) 桔梗ヶ原開拓の歌の碑(S46・秋) 林五一翁頌徳碑(S50・5・吉日) 宮原茂一歌碑(S53・8・27) 田中勘治郎翁頌徳碑(S59・4・吉日) 長野県苗圃跡地之碑(H3・10・吉日)								
	道 祖 神	明治44・1・6建立・4常会赤羽里志宅前 大正6・2建立・3常会武居孝宅前 昭和8・11・ 建立・8常会杉浦洋一宅前								
	馬 頭 観 世 音	明治20・8・28・建立 8常会杉浦洋一宅前 大正6・7・28建立・4常会上原陸記宅前								
主栽培果実	葡 萄	ナイヤガラ、コンコード、デラウェア、巨峰、メルロ、シャルドネ、ベリーA、竜眼								
	梨りんご	二十世紀、幸水、豊水、ラフランス 津軽、富士								
主 行 事	新年賀詞交歓会、三九郎、区民球技大会、神社祭礼、文化祭、敬老会									
区 常 会	区長、区長代理、会計、常会長8名 計11名									
公 民 館	分館長、分館主事、体協支部長、各部長7名 計10名									
消 防 第 六 部	部長以下 18名 可搬式ポンプ搭載消防車 1台									
区 会 計 〔平成10年度(円)〕	一 般 会 計					特 別 会 計				
	収 入	支 出	繰 越	収 入	支 出	繰 越				
	6,648,317	5,424,676	1,223,641	13,141,373	0	13,141,373				